

# 自己点検・評価・報告書

【 評価対象期間 】 自: 2019年4月1日  
至: 2020年3月31日

専修学校

海邦電子ビジネス専門学校

# 1 教育理念

- 1) 豊かな人間性と社会で必要とされている知識、技術を備えた「明朗で社会から歓迎される人材」を育てます。
- 2) 知識や技術を最大限に発揮するための”人間力”を高め「誠実で人間性豊かな人材」を育てます。
- 3) 変化する情報化社会において、幅広い知識と専門分野の高い技術を持った「実力で勝負できる人材」を育てます。

# 2 教育目標

## イ・経理専攻科

経理専攻科では一般企業における経理事務職や専門知識を必要とする税務会計に即戦力となる人材を育成します。

1. 個人企業から株式会社まで、日常の仕事内容を帳簿に記入し、月末に作成する試算表作成や一年間における報告書である財務諸表作成までわかりやすく指導します。
2. 企業の業種により経理・会計処理がことなるため、それに対応する商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算・建設業簿記を学び、さらに税務会計職に必要な専門知識を得るために、法人税法・所得税法・消費税法も学び、すべての検定試験を取得します。
3. 実務では、パソコンによる業務が一般的であるため、コンピュータ会計ソフトやワープロ、表計算等をカリキュラムに多く取り入れ、すべての検定試験を取得します。
4. 楽しく学び、日商簿記1級合格・全経簿記上級を目指して徹底指導し、将来社会で活躍する人材を育成する。

## ロ・公務員専攻科

公務員試験が難しとされる理由に「高い教養と優れた人間性の両方がもとめられる」ということが挙げられます。公務員専攻ではその事を常に意識し、以下指導徹底して行う事で志の高い優れた奉仕者となるよう指導していきます。

### 1. 知識分野

単に暗記するだけでなく、キーワードの持つ意味・背景を関連付けて覚えてもらい広がりを持たせる。

### 2. 知能分野

問題解決に向けて様々な角度からアプローチを行い、臨機応変にしかもスピーディに解決できる能力を身に付けさせる。

### 3. 人物評価

単に「公務員になりたい」ではなく、具体的な公務のイメージしてもらい、なぜその部署、職種でなければならないのか、その思いはどれぐらい熱いのかを面接や小論文にてアピールできるよう指導する。

## ハ・医療専攻科

医療専攻科では医療業界の事務職に対する多様なニーズに応えられる専門知識と技術を持つ人材を育成します。

1. 医療事務は医科、歯科、調剤、介護と分野が分かれており、医療専攻科ではそれぞれの分野の医療事務資格をすべて取得します。
2. 業務のIT化にともない、事務作業のほとんどがコンピューターで行われるため、医療事務ソフトやワープロ、表計算、プレゼンテーション等のコンピューター関連の資格を取得します。
3. 中、小規模の医療機関では医療事務と経理を兼務することがあるため、簿記や電卓の資格を取得します。
4. 病院でインターンシップをすることにより、実務を経験し、就職意識を高め、早期離職を招く就職ミスマッチを防ぐことにつなげます。

## 二・ビジネスワーク科

ビジネスワーク科では一般企業における経理事務職や専門知識を必要とする税務会計職に即戦力となる人材を育成します。

1. 個人企業から株式会社まで、日常の仕事内容を帳簿に記入し、月末に作成する試算表作成や一年間における報告書である財務諸表作成までわかりやすく指導します。
2. 企業の業種により経理・会計処理がことなるため、それに対応する商業簿記・工業簿記・原価計算を学び、さらに税務会計職に必要な専門知識を得るために、法人税法・所得税法・消費税法も学び、すべての検定試験を取得します。
3. 実務では、パソコンによる業務が一般的であるため、コンピュータ会計ソフトやワープロ、表計算等をカリキュラムに多く取り入れ、すべての検定試験を取得します。

### 3 学校の教育理念、学科の教育目的、育成人材像

| (1) 理念・目的・育成人材像 |                                   |                               |
|-----------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 評 価 項 目         |                                   | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C |
| イ               | 理念・目的・育成人材像は定められているか。             | Ⓢ A B C                       |
| ロ               | 理念・目的・育成人材像などが学生、保護者等に周知しているか。    | Ⓢ A B C                       |
| ハ               | 各学科の教育目的および育成人材像を定め、関連業界に周知しているか。 | S Ⓢ A B C                     |

① 課題： 特になし

---

② 改善： 特になし

---

③ 今後の取り組み：  
 今後とも現在の活動（各種検定の合格率80%以上）を維持するとともに、明るく楽しい学園生活と資格実績、就職実績（97%以上）を両立している

| (2) 学校運営 |                                   |  |
|----------|-----------------------------------|--|
| 評価項目     |                                   | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C            |
| イ        | 運営方針を策定し周知しているか。                  | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ロ        | 運営組織や意思決定システムを整備し、また有効に機能しているか。   | S <input checked="" type="radio"/> A B C |
| ハ        | 人事、給与に関する制度は整備されているか。             | S A <input checked="" type="radio"/> B C |
| ニ        | 教職員の募集、採用、昇格は適切に行われているか。          | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ホ        | 教務、事務、財務の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ヘ        | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。          | S A <input checked="" type="radio"/> B C |
| ト        | 事務職員の意欲、資質の向上を図るための方策を講じているか。     | S <input checked="" type="radio"/> A B C |

① 課題： 特になし

② 改善： 特になし

③ 今後の取り組み：

本学の教育システムを通じて、資格取得、就職活動、入学活動の3本柱を追求することにより「学生から信頼され支援される学校づくり」が実現すると考えている。

| (3) 教育活動 |  |                               |
|----------|--|-------------------------------|
| 評価項目     |  | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C |
| イ        | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。                                 | S A B C                       |
| ロ        | 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | S A B C                       |
| ハ        | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。   | S A B C                       |
| ニ        | キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。              | S A B C                       |
| ホ        | 授業評価の実施・評価体制はあるか。  | S A B C                       |
| ヘ        | 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。  | S A B C                       |
| ト        | 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。                                | S A B C                       |
| チ        | 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。                            | S A B C                       |
| リ        | 新人職員の能力開発のための研修等が行われているか。  | S A B C                       |
| ヌ        | 授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。   | S A B C                       |
| ル        | 成績評価の、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか。                                 | S A B C                       |

① 課題： 特になし

② 改善： 特になし

③ 今後の取り組み： 教育の専門性や教授力を常にレベルアップするため年間を通じての自己啓発や企業と連携により最新の動向を取り入れる研修をし、実際の授業の見学を実施して、校務分掌一覧表を作成し、お互いの協業システムを構築する。

| (4) 学修成果 |                                    |  |
|----------|------------------------------------|--|
| 評 価 項 目  |                                    | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C            |
| イ        | 就職率の向上が図られているか                     | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ロ        | 資格取得率の向上が図られているか                   | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ハ        | 退学率の低減が図られているか                     | S <input checked="" type="radio"/> A B C |
| ニ        | 卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか | S <input checked="" type="radio"/> A B C |
| ホ        | 卒業生の専攻分野における社会的評価を把握しているか          | S <input checked="" type="radio"/> A B C |

① 課題： 特になし

② 改善： 特になし

③ 今後の取り組み：

- イ、 新入生就職セミナーを入学直後に行ない、本学学生が就職する際に非常に優位になっている。
- ロ、 入学式前のオリエンテーションにおいて本学の教育理念及び各学科、コースごとの教育目標、学習評価、進級及び卒業要件、学内諸規則の説明を行うことにより学生のモチベーションを高めている。
- ハ、 退学者を出さないように常に担任が学生全員に声をかけている。また欠席するときは事前に必ず「保護者が電話で届出」をする。無断欠席者、又は長期欠席者は担任が家庭訪問する。



| (5) 学生支援 |                           |                                    |                                    |                         |                         |
|----------|---------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 評価項目     |                           | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C      |                                    |                         |                         |
| イ        | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか    | <input checked="" type="radio"/> S | <input type="radio"/> A            | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| ロ        | 学生相談に関する体制は整備されているか       | <input checked="" type="radio"/> S | <input type="radio"/> A            | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| ハ        | 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | <input checked="" type="radio"/> S | <input type="radio"/> A            | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| ニ        | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか        | <input type="radio"/> S            | <input checked="" type="radio"/> A | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| ホ        | 課外活動に対する支援体制は整備されているか     | <input type="radio"/> S            | <input checked="" type="radio"/> A | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| ヘ        | 学生の生活環境への支援は行われているか       | <input checked="" type="radio"/> S | <input type="radio"/> A            | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| ト        | 保護者と適切に連携しているか            | <input type="radio"/> S            | <input checked="" type="radio"/> A | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| チ        | 卒業生への支援体制を整備しているか         | <input type="radio"/> S            | <input checked="" type="radio"/> A | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |
| リ        | 学生の課外活動に対する支援を適切に行っているか   | <input type="radio"/> S            | <input checked="" type="radio"/> A | <input type="radio"/> B | <input type="radio"/> C |

① 課題： 特になし

② 改善： 特になし

③ 今後の取り組み：  
学生、保護者からの相談はクラス担任だけでなく進路部の先生方が相談に応じている。

|     |                                  |                               |
|-----|----------------------------------|-------------------------------|
| (6) | 教育環境                             |                               |
|     | 評 価 項 目                          | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C |
| イ   | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | S (A) B C                     |
| ロ   | 防火に対する体制は整備されているか                | (S) A B C                     |
| ハ   | 学校に隣接する学生専用の無料駐車場を完備しているか        | (S) A B C                     |

① 課題： 特になし

---

② 改善： 特になし

---

③ 今後の取り組み：  
施設、設備は学生に教育上支障がないよう整備されている。防火に対する体制は、教職員、学生が防災に対する意識を喚起を行っている。

| (7) 学生の受入れ募集 |   |  |
|--------------|---|--|
| 評価項目         |   | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C            |
| イ            | 学生募集活動は、適正に行われているか                      | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ロ            | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか             | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ハ            | 学納金は妥当なものとなっているか                        | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ニ            | 入学後のミスマッチを防止するため、オープンキャンパス開催、体験授業をしているか | S <input checked="" type="radio"/> A B C |

① 課題： 特になし

---

② 改善： 特になし

---

③ 今後の取り組み：  
推薦入学に関しては資格取得実績、就職実績を明らかにし、特に就職については正社員であることにこだわって就職指導している。

| (8) 財務 |                          |                               |
|--------|--------------------------|-------------------------------|
| 評価項目   |                          | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C |
| イ      | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | Ⓢ A B C                       |
| ロ      | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | S Ⓢ A B C                     |
| ハ      | 財務について会計監査が適正に行われているか    | Ⓢ A B C                       |
| ニ      | 財務情報公開の体制整備はできているか       | Ⓢ A B C                       |

① 課題： 特になし

---

② 改善： 特になし

---

③ 今後の取り組み：  
 少子化傾向が続く中、財政基盤をさらに安定させていく必要がある。

| (9) 法令等の遵守 |                                   |  |
|------------|-----------------------------------|--|
| 評 価 項 目    |                                   | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C            |
| イ          | 法令、専修学校設置基準等の遵守と<br>適正な運営がなされているか | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ロ          | 個人情報に関し、その保護のための対<br>策がとられているか    | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ハ          | 自己評価の実施と問題点の改善に努<br>めているか         | <input checked="" type="radio"/> S A B C |
| ニ          | 自己評価結果を公表しているか                    | <input checked="" type="radio"/> S A B C |

① 課題： 特になし

---

② 改善： 特になし

---

③ 今後の取り組み：

現時点で特に問題は無いが、学生数の増加に伴う  
校舎は7年以内に新築する必要がある。

また、法令、専修学校設置基準に変更が生じた際は  
基準に沿って整備を行う。

|      |  |                               |
|------|--|-------------------------------|
| (10) | 社会貢献・地域貢献                                |                               |
|      | 評価項目                                     | 適切 S・ほぼ適切 A・<br>やや不適切 B・不適切 C |
| イ    | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか          | Ⓢ A B C                       |
| ロ    | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                   | Ⓢ A B C                       |
| ハ    | 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか | Ⓢ A B C                       |

① 課題： 特になし

② 改善： 特になし

③ 今後の取り組み：

ボランティア活動は学生の自主性を尊重して推進していく。地域に根差した教育機関として、公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施する。